

NO.119 号 発行・編集：（一社）富山県社会福祉士会
〒939-0341 富山県射水市三ヶ 579 富山福祉短期大学 1 号館 1F 内
Tel/Fax 0766-55-5572 toyama.csw@gmail.com 2026 年 7 月発行

鯿おこし



第 18 回定時社員総会を終えて

副会長 中山 光明

富山県社会福祉士会第 18 回定時社員総会が、令和 8 年 5 月 30 日富山県民会館にて開催されました。冒頭、清水会長より「日頃より会員の皆様には会の運営や研修会への参加にご理解とご協力をいただき感謝いたします。」と挨拶がありました。

定時総会では、まず 1 号議案と 2 号議案が審議されました。1 号議案では、各委員会より 2025 年度の事業報告と 2 号議案では 2025 年度決算報告が行われ、監査報告にて、監事より「財産及び事業の執行は正しく表示している」との報告を頂きました。第 18 回定時社員総会の 2 議案とも無事承認され、令和 8 年度を無事スタートできることとなりました。役員一同、会員の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

総会後は、「Social Worker,s Café 交流会」と題し 3 人のワーカーより一日のスケジュールや仕事の進め方、働きがい、社会福祉士を実感できる瞬間などを発表して頂きました。その発表を基に、お茶やコーヒー、ジュース、お菓子を囲みながら、皆でおしゃべりを楽しみました。「人脈作りのコツは？」「将来のキャリアは？」「独立するには？」「収入は？」といった、自分の興味のある事を聞いてもらい同じ仲間、社会福祉士なんだと実感できる、温かいカフェとなりました。今回発表頂いた 3 名のワーカーの皆様の話は、今後私た

ちのソーシャルワークに必要な姿勢、思考の柔軟性、心の弾力性のヒントを得た貴重なお話でした。

今年度も当会では、会員の皆様の研鑽のお手伝いを始め、研修の企画、会員交流の機会を持ち委員会活動を通して、皆様のお手伝いができる活動をしていきますので、富山県社会福祉士会をよろしくお願いいたします。

第 2 回 Social Workers Café に参加して

今回も昨年に引き続き、総会後の交流会を開催しました。参加された方に、感想を頂きました。今後こうした社会福祉士会の会員で交流ができる機会も提供していけたらと思います。



富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

相談支援科 廣瀬 真澄

3名の独立社会福祉士事務所を開設されている実践者の方から、パワーあふれる仕事・キャリアのお話を伺い感銘を受けた一方で、自身のバイタリティーの低さに劣等感を覚えました。しかし Cafe タイムでポツリと話したところ「病院や行政に、顔が見えて連携が取れるソーシャルワーカー仲間がいると思うだけで、私たちは強みに感じていますし、頼りにしています。」と返して頂き、温かい気持ちで満たされる気持ちになりました。ソーシャルワーカー同士、働く分野や職場が異なっても、倫理観・価値観を同じくしている仲間がいて繋がっていると実感できる交流会でした。今回の総会・交流会では、10 数年ぶりに再開したソーシャルワーカー仲間とも話すことができ、互いに研鑽を継続していこうという気持ちにもなれ、幸せな時間でした。

私自身、今年度からソーシャルワーク実践者として戻ってくることが出来たのは、社会福祉士会の皆様に支えられてきたおかげと思っています。今後とも宜しくお願いいたします。

ソーシャルワーカーデー2026 inとやま

令和8年7月18日(土)に富山県総合福祉会館(サンシップとやま)で「ソーシャルワーカーデー2026 inとやま」を開催しました。

富山県社会福祉士会、富山県精神保健福祉士協会、富山県医療ソーシャルワーカー協会の主催で「つなぐ!支える!ソーシャルワークの輪!」をテーマに、様々な分野で活躍する6名のソーシャルワーカーから日頃の実践について報告があり、発表後にはグループで分かれて感想や意見を交わしました。現役のソーシャルワーカーをはじめ、学生や一般の方々にもご参加いただき、それぞれの立場からの活発な意見交換が行われ、有意義な時間となりました。



刑事司法福祉委員会

刑事司法分野での新しいソーシャルワークを考える

刑事司法福祉委員会委員長 根津 敦

新しい刑罰「拘禁刑」が導入されてから 1 年、先日の法務省の発表によると、全受刑者 3 万 4,875 人のうち 5,273 人、15.1% が拘禁刑で服役しているとのこと。拘禁刑導入によって、受刑者の特性に応じて分類する「矯正処遇課程」（24 課程）が新設され、6 月 1 日時点での調査対象の受刑者 3 万 3,572 人のうち、おおむね 70 歳以上で認知症や身体障害などがある受刑者対象「高齢福祉課程」には 1,897 人、知的障害や発達障害のある受刑者対象「福祉的支援課程」には 1,563 人が指定されていたという。従来は懲役刑として刑務作業が義務付けされていたが、本人の更生を進め、再犯を防止する処遇が刑務所内で取り組まれています。

このような新しい処遇を受けて出所してきた人々に対して、私たちソーシャルワーカーはどのように関わっていけばよいのでしょうか。今までも生活保護、介護保険、障害者自立支援法、医療などのサービスにつなげて支援をしてきていますが、刑務所内で受けてきた処遇（職員などのかかわり方なども含む）を活かす“新しい”ソーシャルワークが必要ではないでしょうか。せっかく刑務所内で、はぐくんできた更生への道が社会に出た途端に切れてしまえば、再び罪を犯すかもしれません。社会よりも刑務所の中のほうが“居心地が良い”ともなりかねません。そのような切れ切れ支援を避けることを考える機会として、来年 2 月セミナーを企画しております。矯正現場の現状と課題を知り、触法者へのソーシャルワークを考えていきますので、ご関心のある方はご参加をお願いいたします。

未成年後見監督人について

富山福祉短期大学 松尾 祐子

15 年くらい前に、ばあとなあのお母さんの方から「未成年後見監督人の推薦依頼が届いている」と連絡がありました。5 日間の養成研修は受けていましたが、監督人の役割はすぐに思い浮かびませんでした。訪問しやすい距離の所に住んでいたこともあり、引き受けることになりました。

担当した瑛里ちゃんは、母親が亡くなり祖父母と生活をし、祖父が後見人になっていました。祖父が高齢になってからは、近所に住む叔父が後見人になりました。監督人としては、年に数回自宅を訪問し、定期報告書を後見人と一緒に作成しました。瑛里ちゃんは、中学は不登校気味だったのですが、高校は皆勤賞を取り頑張りました。

県外の大学に進学してからは、帰省した時にご飯を食べに行ったりしました。大学は現役で卒業し、去年、介護福祉士に見事合格し、現在、グループホームで働いています（写真）。小学生の頃から知っている瑛里ちゃんが、介護分野で働いていることを嬉しく思います。認知症の祖母を旅行に連れて行ったりする姿も素敵です。

未成年後見監督人は全国的にも数が少なく、殆ど知られていませんが、少しでも知って頂ければと思い

ます。

※監督人は家庭裁判所に代わり、未成年後見人の業務を適正に行っているか監督する役割。



★ 社会福祉士国家試験全国統一模擬試験を実施します ★

社会福祉士国家試験合格を目指す方を対象として、社会福祉士国家試験全国統一模擬試験を実施します。お近くの受験予定の方に周知いただきますようお願いします。

主催：一般社団法人富山県社会福祉士会

日程：2026年10月4日(日)10:00～15:35

会場：自治労とやま会館（富山市下新町 8-16）

受験料：5,500 円（振り込み）

申込期限：2026年8月31日（月）

詳細は一般社団法人富山県社会福祉士会のホームページをご覧ください。



↑ ↑ ↑ ↑ ↑

QRコードを読み込むと
ホームページへアクセスできます。

事務局からのお知らせ

事務局へのお問い合わせは、E-mail またはお電話でお願いいたします。

(土日・祝祭日を除いた 10:00～15:00)

連絡先 Tel/Fax: 0766-55-5572 E-mail: toyama.csw@gmail.com

会員数 497 名 (令和8年6月末時点) **研修を受け自己研鑽に努めましょう。**

★鯽おこしの画像を募集

鯽おこしの余白に載せる画像を募集します。

例.) ペットや、富山の風景画、オススメのスポットなど

- ・人物や事業者の許可が必要な画像は扱えません。
- ・掲載する画像は、必ず掲載されるとは限りません。
- ・掲載する際に、画像を加工 (※トリミングや画質の調整など) する場合があります。

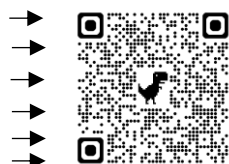
■画像の投稿について↓↓↓

- ・メールのタイトルに『鯽おこし写真投稿』と入力
画像の題名、名前【ニックネーム可】を記入し、事務局あてにメールして下さい。

★アンケート★

ご意見をお聞かせください)

皆様のご意見を、鯽おこしに反映させられたらと思います。お気軽にご意見をお寄せください。



アンケートは
こちらから



編集後記

最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。今号の特集を通じて、あらためて「人とのつながり」や「ネットワーク」の価値を感じられた方も多いのではないのでしょうか。現在、どの業界でも「人材育成」や「人材確保」が切実な課題となっています。その解決の第一歩は、互いを知り、思いを交わす「対話」にあると思います。新しい出会いは、きっかけがないとなかなか得られるものではありません。

社会福祉士会では、これからも皆様が安心して集い、語り合える「つながりの場」を提供していけたらと思います。

(原田)